

正解のない世界と正解を求める 現代教育の狭間に挑む

研究キーワード



- 文理融合による統合的研究：創造性とはどういうことか？
ノーベル賞の発想から学ぶ「出来ないことこそ創造の原点」
- 芸術と心理学の統合的研究：不可能への挑戦とはなにか？
一人では出来ない事から「心と身体と運動の統合に向けて」
- 未来創成学の展望と創造性：競争から共創への転換とは？
自他一如の「共創」による「輝かしい未来の創造の展望へ」

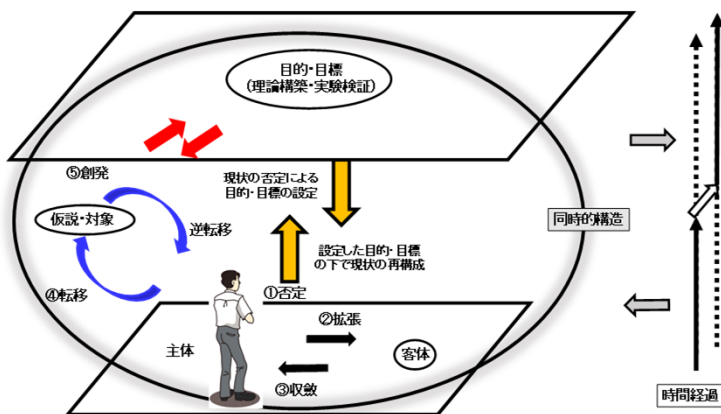
連携アピール



- すべての鍵は、自分自身の「ものの見方」にあります。
「ものの見方」を変えると、それまで「目に見えなかった世界」が、色鮮やかに輝きはじめ、語りはじめてくれます！
- 私たちは、「遊び」と「学び」を分けて考えがちですが、
「遊び」と「学び」を共に享受することで「共創と調和の循環」
を実践することが出来るのです。もちろん、みなさんにも、
そのような機会を創り出すパワーがあります。

本研究の概要

- 本研究の課題：「如何にして、正解のない世界と正解を求める現代教育の狭間に挑むか」、すなわち、「どうすれば、対立を乗り越え続けることができるか」。これが、本研究の課題です。重要な観点とは、対立を乗り越え続けるには矛盾の活用が不可欠です。そのために失敗を恐れずに失敗から学ぶこと、真剣な遊びを通して物事の本質を学ぶこと、病いを体験して健康に目覚めることが大切です。
- すべての体験において、創造性が求められます。
- 『自然の覚知—生命の調和と循環』2024年出版



研究者



村瀬 雅俊 (むらせ まさとし)
教育学部教育学科 教授

